



し しん かい 志 真 会 報 2023 2月発行

滑川市議会議員

寒さが厳しい折、滑川市の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。我々志真会には平素より格別なお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。ご挨拶が遅くなりましたが、おかげさまで私たちも穏やかな新年を迎えさせていただきました。

昨年末、令和4年12月議会が開催され、滑川市一般会計に対し7億6,116万9千円の補正予算及びいくつかの条例改正、中滑川複合施設「メリカ」の指定管理者の指定と陳情案件に対する議案が上程され、最終的には全て可決を致しました。その中で志真会内でも意見を出し合った案件に対して触れさせていただきます。

中滑川複合施設「メリカ」の指定管理者の指定！

中滑川複合施設は、市民の生命と暮らしを守るため、災害時における避難施設として活用するとともに、まちなかにおける賑わいの創出と、交流人口の拡大を図ること目的として昨年完成しました。この目的達成のために、滑川市としては初めて完全民間に委託する形式をとることとなり、一般公募をかけました。10月26日の締切までの間に数社が見学され数件の応募が見込まれましたが、結果的に1者の応募のみとなりました。1者のみとなった原因に年間の指定管理料が安かったという見方もありました。その1者が最終的に採択された結果となりましたが、やはり多くの企業の提案も見た上で結論を出したいと思いましたが、公設民営ではあるものの公共施設という点では全ての市民に平等に利用していただける施設として運用していただきたいものだと考えます。施設の2階は月額の有料制となることに対して会派でも意見が分かれていましたが、指定管理者になられた業者は「今後柔軟に対応していきます」との回答でしたので賛成とさせていただきます。現状は、1階の一部のみの運用となっていますが、4月23日にはオープニングイベントが開催され全館オープンとなります。どうか皆様、足を運んでいただければと思います。

滑川市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

市職員の定数を現状の255人から284人に増やすという条例改正案が上程されました。これは、滑川は県内他市町村に比べ、人口1人当たりの職員割合が少ないという点から今後のサービス向上のためにも職員数を増やすという事でした。確かに調べますと人口5万人以下の市町村において全国でも2～3番目に少ない職員数でした。しかしながら、今後さらなる人口減少や人件費の問題を考えると厳しいのではないかと考えられましたが、職員の定年退職年齢の引き上げと共に徐々に増やす方向で、人件費に関しても採算が取れるという事、また行政サービスのさらなる向上の約束を確認し、会派として賛成に回りました。

以上簡単ではございますが、12月議会の一部内容をお伝えさせていただきました。まだまだ寒さが続くと思われませんが、皆様がご健康で本年もますます躍進されますことをお祈り申し上げます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

竹原正人 議員



議会で質問した内容は？

12月定例会では、次の5項目について質問をしました。①中滑川複合施設メリカの指定管理のあり方について。②滑川海浜公園キャンプ場の管理運営について。③観光振興について。④中学校部活動における土日の地域移行について。⑤軽自動車税の納税証明書の取り扱いについて。

メリカの指定管理については、応募が1者であったことに対する当局の考え方や、未だに空きスペースがあるテナントの今後の対応、開館時間が短すぎるなどの注文をつけました。本格オープンまでにしっかりとした対応をして、賑やかな施設になって欲しいと思います。

3月骨格予算への意気込み

新型コロナウイルス感染症対策の予算は落ち着くと見込んでいますが、限られた財源での予算編成であることから、特に新規事業の精査をしっかりとしていきたいと思っています。

大浦豊貴 議員



議会で質問した内容は？

12月議会では昨年11月、滑川市議会へ本市の通学区域制度の弾力的運用に対する陳情書が提出されました。陳情書は議会運営委員会に於いて、委員会負託を行わず参考資料配布となったため後日、陳情者の趣旨説明を個人的に聞かせていただき、そのご意見を行政へ届けました。

本市では、通学区域は、町内会単位で設定するという原則に従い、通学区域審議会からの答申を受け教育委員会が決定します。しかし、現行の原則に沿ったものではなく地域コミュニティの在り方や子育て支援の一助として市民の要望に対し早急に検討いただきたいと要望しました。

3月骨格予算への意気込み

市長も変わり、限られた予算の中で優先・集中される事業に対する分配の整合性や市民生活支援に対する不足が生じないか等、当局と確認しながら予算審査したいと思っています。

谷崎潤一 議員



議会で質問した内容は？

12月議会では、富山市内中学校に起こったいじめ問題について滑川市教育委員会としての考え、現在の滑川市内小中学校のいじめ・不登校件数など重大な社会現象について、質問させていただきました。

また令和4年11月に文部科学省が適切な対応を講じた上で、給食時間に「会話をすることも可能」と各都道府県教育委員会などに通知いたしました。そこで滑川市内小中学校では黙食はいつまで続けていくのか、学校給食における完食や残食などについて見解を伺いました。保護者・教育現場の認識の相違や距離感などまだまだ解決しなければならない事柄や問題は多く感じられました。今後も、良い形で解決できますよう提案・質問してまいります。

3月骨格予算への意気込み

12月議会では水野市長より福祉事業や学校教育に力を入れたいとの嬉しい答弁を頂いたので、3月議会での令和5年度予算報告の折には、福祉・教育に注視してまいりたいと思います。

吉森真人 議員



12月議会のお詫び

12月議会では息子が新型コロナウイルスに感染したため濃厚接触者になってしまい一般質問を行えませんでした。せっかくの機会をつぶしてしまい申し訳ございません。

3月骨格予算への意気込み

次回3月議会において、出来なかった質問の一部も行おうと思っております。3月議会は、来年度予算の審議がメインとなります。水野市長にとっては初の当初予算です。DX推進に関わることがどこまで盛り込まれているのか、市民にとって本当に必要な予算なのか。また、滑川市は多くの転入者にて人口を維持してきた中で、農業振興地域整備計画の変更手続き、いわゆる農振除外が市内ほとんどの区域で8年間できない事に対して、どれほど影響が出るのか、影響を抑える対策など検討しているのかなど、しっかりと精査して議会を進めていきたいと思っております。

安達真隆 議員



議会で質問した内容は？

12月議会では8月から厚生連滑川病院小児科では金曜日診療の他に水曜日半日診療を行っていることに対し質問しました。現在の水曜日半日診療は、令和5年3月末で期限を迎えることになっており、引き続き滑川市として強く要望しているのかとの質問に対して、当局からは、「市内の小児科診療は通常診療に加え、発熱外来ワクチン接種、健診業務などにより逼迫している状況にあり、厚生連滑川病院には来年度においても週2日の小児科診療の継続、さらなる診療日の増について要望を続けていく」との回答をいただいています。今後も次世代を担う子供たちの健全な育成のため、より医療機関の整備は不可欠だと思います。

3月骨格予算への意気込み

東部小学校、西部小学校ではすでに放課後児童クラブが整備されており、それ以外の地区についてはどのように考えるかと質問したところ、国から令和5年より空き教室の活用を検討するように方針が示されたため、滑川市でも指針に従い順次空き教室の活用を検討していくと回答があった。そのことから早く実現していけるように努めたい。

青山幸生 議員



議会で質問した内容は？

12月議会では森林環境税が令和6年から1人年額1,000円徴収されることを受け森林整備について使用目的を明確化し、豊かな森づくりの形成を独自でするのはどうかと質問しました。また子どもたちの学習環境については不確実性が多い世の中で困難に立ち向かう力を育めるよう、主体的・能動的な学習環境の充実を強く要望致しました。過去に質問した項目においてはスポーツメーカー等とパートナーシップの締結について前向きな答弁を市長からいただきました。

観光発展についてはほたるいミュージアムに整備されるVRの詳細を確認し、滑川市の観光を更に充実できるよう、観光の競争戦略について観光課長と質疑応答を致しました。今後も様々な政策をより厚みのあるものへ提案していきます。

3月骨格予算への意気込み

3月予算の未定稿は概ね130ページあります。水野市長の新たな政策についての予算は当然のこと、毎年同様に予算が組まれている継続予算にもその事業の成果などを注力して議決致します。